

令和4年度 石狩市教育委員会会議（5月定例会）会議録

令和4年5月31日（火）

開会 13時30分

市役所本庁舎 第2委員会室

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
教育長 佐々木 隆 哉	○	/	
委員 門 馬 富士子	○	/	教育長職務代理
委員 松 尾 拓 也	○	/	
委員 根 本 壽 夫	○	/	
委員 坪 田 清 美	○	/	

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長（兼文化財課長）	蛭 谷 学 俊
生涯学習部理事	西 田 正 人
生涯学習部次長（教育指導担当）	高 橋 真
総務企画課長	東 薫
学校教育課長	森 本 栄 樹
教育支援課長	鈴 木 昌 裕
市民図書館副館長	岩 城 千 恵
社会教育課長（兼公民館長）	斉 藤 晶
学校給食センター長	櫛 引 勝 己
厚田生涯学習課長	吉 田 卓 己
浜益生涯学習課長	開 発 克 久
総務企画課総務企画担当主査	鎌 田 晶 彦
総務企画課総務企画担当主任	西 山 知 子

○傍聴者 2 名

議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名

日程第2 議案審議

議案第1号 令和4年度一般会計予算（第2号補正）

議案第2号 石狩市社会教育委員の委嘱について

議案第3号 石狩市民図書館協議会委員の任命について

議案第4号 石狩市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

承認第1号 石狩市学校運営協議会委員の解任について

承認第2号 石狩市学校運営協議会委員の任命について

承認第3号 石狩市学校給食センター運営委員会委員の解嘱について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

① 令和4年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について

日程第5 その他

日程第6 次回定例会の開催日程

開会宣告

（佐々木教育長）ただ今から、令和4年度教育委員会会議5月定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名

（佐々木教育長）日程第1 会議録署名委員の指名ですが、根本委員にお願いいたします。

日程第2 議案審議

（佐々木教育長）日程第2 議案審議を議題といたします。

議案第 1 号から議案第 4 号の審議を非公開とする件について

(佐々木教育長) 議案第 1 号「令和 4 年度一般会計予算(第 2 号補正)について」、議案第 2 号「石狩市社会教育委員の委嘱について」、議案第 3 号「石狩市民図書館協議会委員の任命について」、議案第 4 号「石狩市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」は、石狩市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項第 4 号及び第 2 号に該当いたしますので、非公開案件として後ほど審議したいと思いますが、ご異議ありませんか。

【異議なし】

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、非公開案件とすることに決定いたしました。

承認第 1 号 石狩市学校運営協議会委員の解任について

承認第 2 号 石狩市学校運営協議会委員の任命について

承認第 3 号 石狩市学校給食センター運営委員会委員の解嘱について

(佐々木教育長) 次に、承認第 1 号「石狩市学校運営協議会委員の解任について」、承認第 2 号「石狩市学校運営協議会委員の任命について」、承認第 3 号「石狩市学校給食センター運営委員会委員の解嘱について」は、主に、年度替わりに伴う P T A 等役員の改選及び教職員の異動等によるものでございますので、一括して蛭谷部長から報告をお願いします。

(蛭谷部長) 承認第 1 号～第 3 号は、各審議会委員の解任または解嘱及び任命について専決を行ったものについて承認を求めるものでございます。

これらにつきましては、教育長から説明がございましたとおり、P T A 及び関係団体の役員改選及び教職員の異動等によりまして、4 月 30 日をもって学校運営協議会委員を解嘱したもの、5 月 1 日付で新たな委員を委嘱したもの、また、5 月 12 日付で学校給食センター運営委員会委員を解嘱したものです。

委員の区分氏名等は記載のとおりでございます。

これらはいずれも、教育委員会会議を開く暇がないものとして、石狩市教育委員会教育長事務専決規程第 2 条第 1 項に基づき、教育長専決で決定いたしましたので、同条第 2 項に基づいて報告をし、承認を求めようとするものでございます。承認のほど、よろしくお願い申し上げます。

(佐々木教育長) ただ今、説明がありました承認第1号から第3号につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【質問なし】

(佐々木教育長) ご意見、ご質問等がないようですので、承認第1号から第3号について承認ということによろしいでしょうか。

【異議なし】

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、承認第1号から第3号について、承認いたしました。

日程第3 教育長報告

(佐々木教育長) 次に、日程第3「教育長報告」を議題といたします。5月定例会の教育長報告につきましては、お手元にお配りをしてございます資料をご覧ください、報告に代えさせていただきます。ご質問等ございましたらお願いします。

(門馬委員) 4月28日木曜日に「石狩教育局 安榮指導監との面談」とありますが、これは何か特別な目的があつての面談だったのでしょうか。

(佐々木教育長) 指導監は、必ず年に1回、すべての学校を訪問します。また、新任の校長先生がいる学校は年2回訪問することになっており、実際に授業の様子を見学し、校長先生から学校経営の話を聴くなどして、必要な指導・助言を行っております。この日は、今年度の予定を説明に来ていただいたというのが主な目的です。

今後、1回目の訪問が終わった時点で状況の説明を受けまして、年度末には2回訪問した学校についての状況説明を受けるという予定になっております。

(門馬委員) その訪問は、毎年行われているのでしょうか。

(佐々木教育長) そのとおりです。他にご質問等ございませんか。

(松尾委員) 2点お聞きします。

1点目は学校訪問についてです。5月16日から数日に分けて実施されておりますが、今年の印象や雰囲気について、お感じになったことがあれば教えていただきたいということと、もう1点は、27日にオンライン開催された「運動部活動の地域移行に関するオンラインシンポジウム」についてですが、昨今関心の高いテーマだと思いますが、我々も共有しておくべき事例や考え方があれば教えていただきたいと思います。

(佐々木教育長) はじめに、学校訪問についてですが、各校とも、それぞれの子どもたちの実態を踏まえて学校改善プランを作って、今後、それに基づいた教科指導などを実施するというところで、課題をしっかりと捉え取り組もうとしていることが分かりました。

また、働き方改革に取り組むという観点で、担任外の先生に積極的に授業に入ってもらい、あるいは、先生方から毎月取組に対する評価をしてもらい、あるいは、短期間でPDCAを回すといった校長先生の考えが反映された様々な取組があると受け止めております。定期テストを廃止して、単元ごとのテストで評価を試みている学校もありました。また、通知表の前期の所見を省略して後期のみ行い、前期の所見をやめる代わりに保護者との面談で直接伝えるという学校もありました。それぞれの学校で特徴的で意欲的な取組があると改めて感じました。高橋次長が何か感じたことはありますか。

(高橋次長) 新しい取組を実施している学校も多々ありますし、4月、5月は、学校のベクトルを定める時期なので、校長、教頭先生をはじめ教員とともに丸となった学校づくりのための具体策を説明いただいているところです。

また、授業も拝見しています。全校どのクラスも非常に落ち着いた雰囲気の中で学習活動が営まれているということが手に取るようにわかりました。そのことを教育長が学校に還すことにより、校長、教頭先生に伝え、そして、校長、教頭先生から各教員に伝え、還しますので、それが好循環となってより良い学校が営まれるという環境を生んでいきたいと感じております。校長会議でも各学校の良さをもう一度伝えることによって、好循環を生み出していきたいと感じているところです。

(佐々木教育長) 次に「運動部活動の地域移行に関するオンラインシンポジウム」については、現在、スポーツ庁が設置した有識者会議がもうじき提言を取りまとめるという段階に来ていまして、その提言の主な内容と、それから、シンポジウムのそれぞれの意見発表という形で行われました。

提言の主なものとしては、まず、休日の運動部活動の地域への移行を令和5年

度から令和7年度を集中改革期間として強力に進めていくということでした。平日の運動部活動の地域移行については、この令和5年度から令和7年度の期間にはこだわらずに、できるところから、できる形で進めていくとのことでした。

ただし、令和8年度以降もこの3年間の取組状況を踏まえて、さらなる改革を進めていくことを想定しているようです。それによって生じる課題も色々あります。例えば、財源的な話でいうと、t o t o助成などを含む財源確保が必要ではないかということや、指導者については、資格の取得あるいは研修の実施、人材バンク的な仕組みが必要ではないかという意見。施設面でいうと、学校の施設を使えないかという話が出されていました。大会でいうと、例えば、中学校であれば、中体連という形で今は中学校しか参加資格がありませんが、今度は地域のスポーツクラブも参加できるようにすべきではないかといったような、様々な考え方が示される予定だということです。

この件は『教員の働き方改革』という話が前面に出ていますが、スポーツ庁としては、ますます少子化が進み、現状の学校単位の部活動を続けていても、将来的に維持できなくなるのではないかということに危惧しており、これは、学校改革であると同時に地域におけるスポーツの構造改革になるという考え方で進めようとしているようです。

一方、地域のスポーツクラブが受け皿になるといっても、例えば学校ほど多彩な種目があるわけでもなく、人手の問題もあり、受け皿として大丈夫なのかという疑問も出されていました。

最終的には、実際に行ってみないとわからないということで、地域の議論の前提として、これまで部活の指導にあたってきた先生方に、様々な面で活躍をお願いするというイメージはあるだろうと思うのですが、先生が居住していない地域もあり、そういう場合はどうするのかといったことなど、話を聞いていて様々な疑問が湧いてきましたし、走りながら考えている部分が多々あるのだろうと受けとめました。雑駁な感想になってしまいましたが、以上です。

(松尾委員) 今のお話を受けて、それぞれの部分で感じたことだけを述べさせていただきます。

各学校の取組についてですが、各校の状況を踏まえて、それぞれが試行錯誤も含めて取り組んでおられると思います。結果が出るものと、思ったほど結果が出ないものも含めてあると思いますので、特に良いところを市内の学校で共有していただけるように、校長会議等を含めて機会を活用していただきたいということをお願いとして申し上げたいと思います。

それから、運動部活動の話ですが、やはり、財源や人材などの課題も様々な中で、令和5年度という、もう迫ってきていますので、今伺った印象ですと、

種目によっては、どちらかという地域に渡すよりは、学校が今まで取り組んできたものの中に、地域が一緒になって何かを作っていくという動き方も考えなければいけないのではないかと思います。それから、休日の活動ということで考えると、やはり、色々な種目で携わってきた人材として、教員の方々は無視できないと思いますので、市内の学校の先生が必ずしも市内にお住まいではないということも含めると、管内の中で手を取り合いながら考えていくのも一つの方法だと思います。お話を伺って、半分思いつきですけども、そのようなことを感じました。以上です。

(佐々木教育長) ご意見ありがとうございます。

(佐々木教育長) 他にご質問等ございませんか。

【質問なし】

(佐々木教育長) ご質問等がないようですので、教育長報告については、了承ということでよろしいでしょうか。

【異議なし】

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、教育長報告は了承をいただきました。

日程第4 報告事項

(佐々木教育長) 次に、日程第4 報告事項を議題といたします。

(佐々木教育長) 報告事項①「令和4年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について」事務局から説明をお願いします。

(森本課長) 私から、「令和4年度石狩市立学校の児童生徒数・学級数について」、学校基本調査の基準となる本年5月1日現在の状況を報告いたします。資料の1頁をご覧ください。

はじめに、表の見方ではありますが、各小中学校について、学年ごとに表示しております。括弧内にある数字が特別支援学級の人数、その下段が普通学級の人数です。丸で囲った数字については、普通学級の学級数となります。

小学校全体の児童数は、小学校計の網かけをした部分の右から2番目で、

2,929人、学級数はその右側、全体で普通学級が114、特別支援学級が23という編制となります。

昨年度対比では、増減の網掛けをした部分で、児童数は34人の増、学級数は普通学級が4学級の増、特別支援学級は1学級の減となっております。

次に、中学校全体の生徒数は1,604人、学級数は全体で普通学級53、特別支援学級14の編制となります。昨年度対比では、生徒数は49人の減、学級数は普通学級が2学級の減、特別支援学級が1学級の減となっております。

小中学校全体の児童生徒数は、4,533人で、昨年対比で15人の減少となっております。

学級数につきましては、小学校は、南線小学校が2学級増、双葉小学校が1学級増、厚田学園が1学級増となっております。中学校については、花川中学校と花川南中学校の1年生がそれぞれ1学級減となったことによるものであります。

次に、各学校における学級の編制についてご説明いたします。令和2年度までは、国の基準に基づき、小学校1年生を除き、1クラス40人学級となっております。令和3年4月の法改正により、昨年度は小学校1年生及び2年生が35人学級、今年度は小学校1年生から小学校3年生までが35人学級と、毎年度、法の改正に基づき35人学級の対象学年が一学年ずつ上がることとなっております。

また、北海道の独自の取組であります「少人数学級実践研究事業」では、今年度は、小学校4年生と5年生及び中学校1年生が、この事業の対象学年として、35人の学級編制が可能であり、太枠で囲んだ南線小学校の4年生と樽川中学校の1年生がこの措置の対象となっているところでございます。その他、黒色部分で白抜き数字の濃い網かけとなっているところが、複式学級の編制を表しており、浜益小学校の3年生と4年生、5年生と6年生、厚田学園の前期課程の3年生と4年生、5年生と6年生、浜益中学校の1年生と2年生が、複式学級での編制となっております。

また、花川北中学校の3年生と厚田学園の後期課程の2年生は、「基礎定数を活用した学級編制の弾力化による学級編制」、いわゆる、担任外の教諭を活用して本来の基準とは違う学級編制の弾力化によって編制を行っております。花川北中学校の3年生は70人で、本来2学級になりますが、今年度は3学級の学級編制としており、また、厚田学園では、本来、中学校における複式学級の基準であります2学年で8人以内となることから、1年生と2年生で複式学級となることから、学級編制の弾力化によりまして、単式学級として編制しているところでございます。私から以上でございます。

(佐々木教育長) ただ今の事務局からの報告について、ご質問等あればお願いをいたします。

(松尾委員) 今後の見通しについてお聞きします。毎年変わることなので難しいと思いますが、現在、把握されている範囲の中でお話いただけたところがありましたら、今後のトレンドについてお伺いしたいと思います。

(森本課長) 今後の傾向についてお答えします。私が持っている資料の中では、これから小学校に入学する予定の0歳から6歳までの5年間の2018年4月1日現在から2022年の4月1日現在の住民票ベースで人数を把握しております。2018年4月1日が2,351人、2019年2338人、2020年2,353人、2021年2,325人、2022年2,300人と、今後、転入や転出による増減はあると思いますが、この数字を見ますと、概ね今後大きな変化はないのではないかと考えられます。

これから小学校に入学する子どもたちの人数つきましては、国全体では減少しているということですが、本市ではそれほど大きく変わらないという分析をしているところでございます。以上でございます。

(松尾委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他にご質問等ございませんか。

【質問なし】

(佐々木教育長) 質問がないようですので、報告事項①を了解ということによりよろしいでしょうか。

【異議なし】

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、報告事項①を了解しました。

日程第5 その他

(佐々木教育長) 次に、日程第5 その他を議題といたします。教育委員の皆さんから何かございますか。

【委員なし】

(佐々木教育長) それでは、事務局からお願いいたします。

(櫛引センター長) 学校給食センター長の櫛引です。

それでは、その他ということで、私のほうから、学校給食の献立変更についてご報告いたします。

5月19日木曜日の学校給食は、「コーンポタージュ」を提供予定でしたが、前日に納品の冷凍コーンを調理員が誤って常温保存したことから、「コーンポタージュ」の代替として、急遽「いちごジャム」と「ミルメークココア」の2品に変更しました。これにより、5月26日木曜日の「ミルメークココア」を「豆乳プリン」に変更しました。

学校にはその旨を連絡するとともに、保護者あて文書を作成し、学校より児童生徒を通じて保護者の方々に文書を配付させていただきました。

その後の対応については、調理業務の委託先である石狩市公務サービス株式会社に対し、再発防止に努めるよう強く指導したところであります。私からは以上です。

(佐々木教育長) ただ今の事務局からの報告について、ご質問等あればお願いをいたします。

【質問なし】

(佐々木教育長) 質問がないようですので、その他については了解ということでよろしいでしょうか。

【異議なし】

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、その他については了解いたしました。

日程第6 次回定例会の開催日程

(佐々木教育長) 次に、日程第6 次回会議の開催日程を議題とします。次回は、6月28日火曜日13時30分からを予定しておりますので、よろしく願いいたします。

(佐々木教育長) 以上をもちまして、公開案件の審議は終了いたします。引き続き非公開案件の審議をいたします。

【非公開案件の審議等】

13時59分～14時10分

閉会宣言

(佐々木教育長) 以上をもって、5月定例会の案件は全て終了いたしました。これもちまして、令和4年度教育委員会会議5月定例会を閉会いたします。

閉会14時10分

【非公開案件の審議等の結果】

議案第1号 令和4年度一般会計予算（第2号補正）

原案どおり可決した。（質疑等省略）

議案第2号 石狩市社会教育委員の委嘱について

原案どおり可決した。（質疑等省略）

	区 分	氏 名	性別	新規・継続	所属団体等
1	学校教育関係者	山田 聡	男	新規	石狩市校長会
2	社会教育関係者	二上 朋子	女	継続	NPO法人石狩市文化協会
3		山田 治己	男	新規	いしかり市民カレッジ運営委員会
4		大橋 修作	男	継続	石狩ユネスコ協会
5		高橋 容子	女	新規	石狩市PTA連合会
6	家庭教育の向上に 資する活動を 行うもの	近藤 宏	男	継続	石狩市私立認定こども園振興会
7		納谷 眞智子	女	継続	石狩トーク☆クラブ
8	学識経験者	渡邊 真奈美	女	継続	浜益区
9		大内 さつき	女	継続	厚田区

10		木村 純	男	継続	北海道大学名誉教授
11		船木 幸弘	男	継続	藤女子大学人間生活学部准教授
12		永田 志津子	女	継続	元札幌大谷大学社会学部教授
13		出口 寿久	男	継続	北海道科学大学教授
14	一般公募	松本 史子	女	継続	
15		高橋 典只	男	新規	

委嘱期間 令和4年6月1日～令和6年5月31日

議案第3号 石狩市民図書館協議会委員の任命について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

	区分	氏名	性別	新規・継続	所属団体、肩書等
1	学校教育関係者	岡山 拓	男	新規	石狩市校長会 (厚田学園校長)
2		大谷 忠義	男	新規	石狩市教頭会 (生振小学校教頭)
3		望月 静華	女	継続	北海道石狩南高等学校 司書教諭
4	社会教育関係者	松谷 初代	女	継続	図書館関係団体 (読み聞かせ子っ子の会)
5	家庭教育の向上に 資する活動を行う 者	小林 睦	男	新規	石狩市PTA連合会 (花川小学校PTA会長)
6		増井 奈穂美	女	新規	石狩市保育所連絡協議会 (友愛認定こども園主幹保育教諭)
7	学識経験者	木村 修一	男	継続	北海道武蔵女子短期大学 教授
8		中村 友昭	男	継続	藤女子大学図書館 図書課長
9	一般公募	青田 奈保子	女	新規	
10		長谷川 洋子	女	新規	

委嘱期間 令和4年6月1日～令和6年5月31日

議案第4号 石狩市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

	区 分	氏 名	性別	新規・継続	所属団体等
1	P T A役員	工藤 隆司	男	継続	石狩市P T A連合会 (石狩八幡小学校)
2		高橋 容子	女	新規	石狩市P T A連合会 (南線小学校)
3		川上 麻衣子	女	新規	石狩市P T A連合会 (花川南中学校)
4		菅原 隆道	男	新規	石狩市P T A連合会 (厚田学園)
5	小中学校の教 職員	石山 雅之	男	新規	石狩市校長会 (花川中学校)
6		星 卓志	男	新規	石狩市教頭会 (石狩中学校)
7		池田 佳奈美	女	新規	石狩市教育振興会養護教諭部会(花川 小学校)
8		高橋 克典	男	継続	石狩市公立小中学校事務職員協議会 (花川中学校)
9	学識経験者	百々瀬いづみ	女	継続	札幌保健医療大学保健医療学部栄養学 科教授
10		石田 しづえ	女	新規	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科 講師
11	一般公募	秋田谷 順子	女	継続	
12		多田 真弓	女	新規	

委嘱期間 令和4年6月1日～令和6年5月31日

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和4年6月28日

教育長 佐々木 隆哉

署名委員 根本 壽夫